



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年4月期1Q	9,658,425株	27年4月期	9,644,425株
② 期末自己株式数	28年4月期1Q	－株	27年4月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年4月期1Q	9,646,185株	27年4月期1Q	9,446,838株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策により企業収益や雇用情勢の改善などが見られ、国内景気は緩やかな回復基調を続けました。しかしながら、円安による原材料価格の上昇や人件費の高騰など企業業績への影響が懸念される事象もあり、先行きの不透明な状況が続いております。

ホテル業界におきましては、政府の観光立国推進に向けた政策や円安を背景とする訪日外国人旅行者数の急増に伴い、宿泊需要が拡大傾向を続けております。その一方、中国経済の減速懸念や欧州の債務問題など、今後の訪日外国人旅行者マーケットの不確実性も指摘されております。

このような経営環境のもと、当社グループは、平成28年4月期からの3ヶ年の中期経営計画「VIEW HOTELS V-STAGE 280」の基本方針1)既存施設での継続的な設備投資、2)新規ホテル・旅館の展開、3)新規事業の展開に基づき、既存事業の持続的な成長と事業基盤の拡大のための取組みを進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,759百万円（前年同期比9.4%増）となり、営業利益は337百万円（前年同期比392.9%増）、経常利益は318百万円（前年同期比353.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は214百万円（前年同期は1百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

セグメントの名称	売上高			セグメント利益（営業利益）			減価償却前営業利益(*)		
	前第1四半期連結累計期間 （百万円）	当第1四半期連結累計期間 （百万円）	前年同期比増減額 （百万円）	前第1四半期連結累計期間 （百万円）	当第1四半期連結累計期間 （百万円）	前年同期比増減額 （百万円）	前第1四半期連結累計期間 （百万円）	当第1四半期連結累計期間 （百万円）	前年同期比増減額 （百万円）
ホテル事業	3,612	3,920	307	56	276	219	285	502	216
施設運営事業	397	463	66	△20	△0	19	△16	6	23
遊園地事業	366	399	33	29	59	29	46	74	27
合計	4,376	4,783	407	66	335	268	315	583	267
調整額	△27	△24	3	1	1	0	1	1	0
連結数値	4,348	4,759	410	68	337	268	317	584	267

(\*) 減価償却前営業利益＝営業利益＋減価償却費

## ①ホテル事業

ホテル事業では、宿泊部門において急激な伸びを見せる訪日外国人旅行者マーケットへの対応としてインターネットによる集客に注力し、レベニューマネジメントにより売上高の最大化を図ってまいりました。また、婚礼・宴会部門では、前連結会計年度までに実施してまいりました改装の効果や昨年4月の消費増税の影響からの需要の回復などの要因により婚礼の受注が好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は3,920百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益は276百万円（前年同期比384.7%増）となりました。

## ②施設運営事業

施設運営事業におきましては、「ぎょうけい館」や「ホテルプラザ菜の花」の宿泊プランの充実などにより営業力の強化を図りました。また、前連結会計年度の平成26年6月に取得した「おくとま路」が通期での営業となった事が業績に寄与いたしました。

これらの結果、売上高は463百万円（前年同期比16.7%増）、営業損失は0百万円（前年同期は営業損失20百万円）となりました。

## ③遊園地事業

那須りんどう湖 LAKE VIEWでは、花火大会やナイトイルミネーションなど話題性のあるイベントにより集客に努めた他、集客の回復に遅れのあった学校などの団体集客の営業を強化してまいりました。また、販売費及び一般管理費全般にわたり経費の低減に努めました。

これらの結果、売上高は399百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は59百万円（前年同期比99.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計は、22,373百万円（前連結会計年度末22,866百万円）と、492百万円減少いたしました。

うち流動資産は、4,218百万円（同4,772百万円）と、554百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、18,155百万円（同18,093百万円）と、61百万円増加いたしました。これは、主に秋田ビューホテルの設備投資による固定資産の増加によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、8,219百万円（前連結会計年度末8,747百万円）と、528百万円減少いたしました。

うち流動負債は、3,787百万円（同3,934百万円）と、146百万円減少いたしました。これは、主に未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は、4,431百万円（同4,813百万円）と、381百万円減少いたしました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、14,154百万円（前連結会計年度末14,118百万円）と、35百万円増加いたしました。これは、主に剰余金の配当の支払いによる減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は、63.3%（前連結会計年度末比1.5ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年6月9日の「平成27年4月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,490	2,914
売掛金	659	703
貯蔵品	184	184
繰延税金資産	155	97
その他	282	318
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,772	4,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,624	9,534
機械装置及び運搬具（純額）	273	273
工具、器具及び備品（純額）	503	478
土地	6,009	5,973
建設仮勘定	9	221
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	16,419	16,481
無形固定資産		
借地権	1,380	1,380
その他	34	34
無形固定資産合計	1,414	1,414
投資その他の資産		
投資有価証券	42	44
長期貸付金	94	94
繰延税金資産	146	132
その他	78	89
貸倒引当金	△102	△101
投資その他の資産合計	259	258
固定資産合計	18,093	18,155
資産合計	22,866	22,373

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	462	415
1年内償還予定の社債	165	165
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,251
リース債務	36	30
未払金	1,064	1,220
未払法人税等	206	43
未払消費税等	276	173
賞与引当金	247	111
ポイント引当金	38	38
その他	237	337
流動負債合計	3,934	3,787
固定負債		
社債	583	583
長期借入金	3,193	2,856
リース債務	90	90
退職給付に係る負債	474	463
資産除去債務	47	47
長期未払金	251	228
その他	173	161
固定負債合計	4,813	4,431
負債合計	8,747	8,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,758
資本剰余金	1,671	1,678
利益剰余金	9,572	9,593
株主資本合計	13,995	14,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	4
退職給付に係る調整累計額	120	119
その他の包括利益累計額合計	123	123
純資産合計	14,118	14,154
負債純資産合計	22,866	22,373

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)
売上高	4,348	4,759
売上原価	1,109	1,199
売上総利益	3,239	3,560
販売費及び一般管理費	3,170	3,223
営業利益	68	337
営業外収益		
受取補償金	27	—
その他	23	24
営業外収益合計	51	24
営業外費用		
支払利息	25	23
株式公開費用	19	10
その他	4	9
営業外費用合計	49	42
経常利益	70	318
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	64	4
特別損失合計	64	4
税金等調整前四半期純利益	6	314
法人税、住民税及び事業税	12	28
法人税等調整額	△8	71
法人税等合計	4	99
四半期純利益	1	214
親会社株主に帰属する四半期純利益	1	214

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)
四半期純利益	1	214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
退職給付に係る調整額	△0	△1
その他の包括利益合計	△0	0
四半期包括利益	1	214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1	214

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,601	381	365	4,348	—	4,348
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	15	0	27	△27	—
計	3,612	397	366	4,376	△27	4,348
セグメント利益又は損失 (△)	56	△20	29	66	1	68

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成27年5月1日 至 平成27年7月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル	施設運営	遊園地	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,912	447	399	4,759	—	4,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	15	0	24	△24	—
計	3,920	463	399	4,783	△24	4,759
セグメント利益又は損失 (△)	276	△0	59	335	1	337

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、事業セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。